







傷く親をサポート
新たな“病児保育”

新たな病児保育の形









水平展開

05年度 2区でサービスイン

06年度 16区に展開

07年度 23区 + 近隣首都圏
と対企業向けに展開



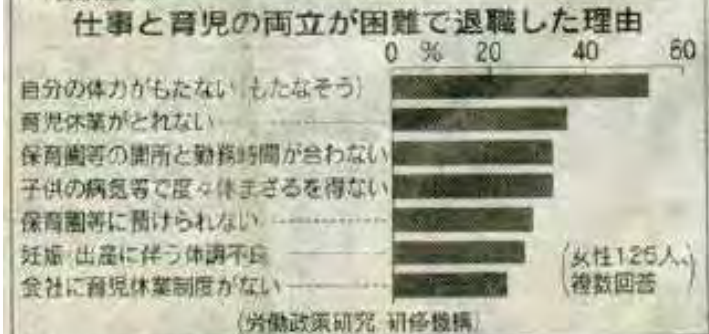
ソーシャルイノベーションを水平展開!

子供が急病 任せて出勤

厚生労働省は、子供の病気や親の急な出張などの際に、退職した看護師や保育士らが子供を引き取り自宅で預かる新たな試みを始める。地域にネットワークを持つ非営利組織（NPO）などを五十程度選び業務委託する。来年度から全都道府県での実施を目指す。子育て世代が仕事に取り組みやすい環境を整えることとで、仕事と子育ての両立を推し進める狙いだ。

名称は「緊急サポートネットワーク事業」。対象は育児しながら働く人で、予定外の出張・残業のほか、子供の病気などの緊急時に「助っ人」をあっせんする。利用者は委託事業を行うNPOなどに事前に登録。必要な際こそ連絡する。近隣の看護

子育てOBが出迎え引き取り 突然の出張にも対応



厚労省、NPOと連携

看護師らスタッフが自宅や保育所に子供を迎えにきてくれる。宿泊にも対応する。

免許を持ちながら仕事をしていたくない看護師などを厚労省はここにきて増加傾向にあるという。同省は一団体あたり事務経

費に約千四百円で約五十五万人いる。NPOなどはこうした看護師や保育士、子育てのベテランを確保し、数日間の研修を実施。子供のスムーズな引き取りや、体調の急激な変化にも対応するため、保育所や医療施設、自治体との連携体制も整える。

厚労省によると、子供の一時預かりなど子育て支援に取り組みNPOなどの団体はここへきて増加傾向にあるという。同省は一団体あたり事務経

費に約千四百円で約五十五万人いる。NPOなどはこうした看護師や保育士、子育てのベテランを確保し、数日間の研修を実施。子供のスムーズな引き取りや、体調の急激な変化にも対応するため、保育所や医療施設、自治体との連携体制も整える。

現在、一部では病気の



病児保育 親が「誘致」

増えぬ施設「もう待ってられない」

病児保育の需要は年々増加し、病児を育てるママたちにとって、病児保育施設は「救世主」的存在だ。しかし、病児保育施設は全国的に不足しており、多くのママたちが「もう待ってられない」と訴えている。この問題を解決するために、都内のNPOが活動拡大へ乗り出している。

都内NPO、活動拡大へ

東京都内の病児保育施設は、近年増加傾向にあるものの、依然として不足している。特に、都心のエリアでは、病児保育施設がほとんどない。この問題を解決するために、東京都内のNPOが活動拡大へ乗り出している。

東京都内のNPOは、病児保育施設を運営している。この施設は、病児を育てるママたちが、病児を預けられる場所を提供している。また、ママたちが安心して子育てができるよう、さまざまなサポートを提供している。

東京都内のNPOは、病児保育施設を運営している。この施設は、病児を育てるママたちが、病児を預けられる場所を提供している。また、ママたちが安心して子育てができるよう、さまざまなサポートを提供している。



「病児保育施設」のママたち。病児を育てるママたちが、病児を預けられる場所を提供している。

東京都内のNPOは、病児保育施設を運営している。この施設は、病児を育てるママたちが、病児を預けられる場所を提供している。また、ママたちが安心して子育てができるよう、さまざまなサポートを提供している。

民間活用 学道保育でも

東京都内のNPOは、病児保育施設を運営している。この施設は、病児を育てるママたちが、病児を預けられる場所を提供している。また、ママたちが安心して子育てができるよう、さまざまなサポートを提供している。

民間活用 学道保育でも。民間企業が、学道保育施設を運営している。この施設は、病児を育てるママたちが、病児を預けられる場所を提供している。また、ママたちが安心して子育てができるよう、さまざまなサポートを提供している。

ひよこね

ひよこねは、東京都内のNPOが運営している。この施設は、病児を育てるママたちが、病児を預けられる場所を提供している。また、ママたちが安心して子育てができるよう、さまざまなサポートを提供している。

瀧陽の自転車屋さん

瀧陽の自転車屋さんは、東京都内のNPOが運営している。この施設は、病児を育てるママたちが、病児を預けられる場所を提供している。また、ママたちが安心して子育てができるよう、さまざまなサポートを提供している。

料理メモ

大根とツネのスパゲティ

【主な材料】

もみじを振りかけます。
 10センチの幅に焼小さきほきを入れ
 揚げタレをゆでます。
 フライパンに油大さじ1を熱し、ア
 ーモンド油を大さじ1を加えて炒め

全国へのコンサルティング

問題意識

ノウハウがないことから立ち上げに不安を抱える団体

解決策

立ち上げ方やマネジメントなどについてのコンサルティングを行う

事例

和歌山県 NPO法人コムデザイン

新たな行政の補助金の形 「施設」から「施設とバウチャーへ」～墨田区の事例～

今までは、保育所を作ったりするための補助金を出していた。
現在は、施設への補助金に加え、利用者(市民)に補助金を提供し、彼らが彼らのニーズにあった保育サービスを選ぶ時に使ってもらう、「バウチャー」という形へ変化してきている。

【バウチャーとは】ある特定の目的のために使用できるクーポン券
保育バウチャーなら、保育（保育料や託児代）だけに使えるクーポン券。教育バウチャーなら、教育関係の費用（塾や学校の授業料）だけに使えるクーポン券です。

すみだ 墨田区のウェブサイトへようこそ

トップページ | サイトマップ

検索

区の見紹介 | 区政に関するデータ・資料 | 暮らしのガイド | 各課のページ | すみだ区報 | すみだマップ | 区内施設案内

現在のページ | 福祉のひろば → 子どもに関する情報 → 子育て支援に関すること → NPO法人の病後児保育を利用したとき

●NPO法人の病後児保育サービス利用料の一部を助成します

利用者は、病児保育を
1時間500円で
利用できるように！
月2回目からの利用の場合

保育サービス(注1.2.3)を利用した園児の保護者の方に利用
看護や保育が必要とされており、保育園等への通園ができな
後の回復期を通じた一連の保育サービスを提供している場
、事前に登録が必要です。登録料一人2,000円(入会時期及



墨田区の提携医：唐澤医院